

破天荒

教宣部

5056号

2019年
3月 4日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

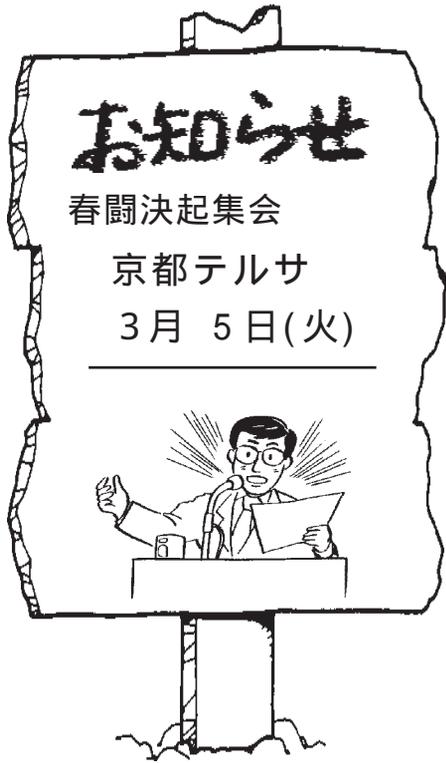
2019年 春闘スタート

三月一日、ベースアップを求めて春闘要求書を提出しました。回答指定日は三月十三日、要求額は六四三四・七円です。

現状認識

二〇〇二年より一度もベースアップはありませんでした。その間、いざなぎ景気とリーマンショック、エコポイント景気と欧州経済危機、そして現在も続いていると言われる好景気の中でもです。

今年も天皇譲位、秋までの消費税駆け込み需要、秋からの消費税増税。来年は東京オリンピック、その五年後には大阪万博の開催も決定しており、正に書き入



れ時とも言えるチャンスの中、電子では売り上げを前年並み・経常利益を減益と目標を定めました。要は頭はキレるかしらんけど足元がガタガタなんですね。目標が足元を固めるのであれば現場で働く従業員の協力は必須です。

昨年労働基準監督署が電子東野第二の生産部に監察が入り、タイムカードの残業時間と申請した時間の差額を支給した件について会社は、法的に残業申請の時は二年であり、タイムカードの保管期限は三年なので、もし残業申請を「忘れていた」という方がおられてタイムカードを見たいと言われれば対応するのとでした。



定期昇給

ベースアップゼロ・定昇のみ、業績の良い時は一時金で支払うという会社方針ですが、組合はベースアップを要求します。〇二年の頃の消費税は5%でした。厚生年金は当時より報酬月額の上がり、健康保険料は2%です。雇用保険料は下がりましたが微々たるものです。物価はというとデフレ期もありましたが当時と比較すれば上

がっています。〇二年当時に三十歳だった人が今年には四七歳になります。その四七歳の人が当時の生活レベルを確保できているのかという下がっているのしか言えません。組合は個人の昇給平均(定昇四七六一円)ではなく賃金体系の増額(ベースアップ)を求めているわけです。



職場の声

二〇一九 総合見本市

最近、見本市の説明員は1日づつの交代となり、非常に良い傾向だと思っていたが本年はほぼ全員が2日間というメンバー構成「組合員は外に出すな」というお言葉が復活し1日づつの交代が出来るメンバーが揃わなくなったのか。

非組合員にも迷惑掛かるのは本意ではないが、あからさまに「組合員外し」なんてことするから、余計にギクシャクする。

安全衛生委員会

一方、事業部では今年の一ヶ月より営業手当がなくなりました。該当部署への説明会では外出を毎日していないので営業手当は支払わない。今後は残業手当をつけても良いとの説明があったそうです。

ん？エンジの募集で営業には時間外勤務手当がありません。営業手当：別途支給(三八七五〇？七三三〇〇円/月)などで募集してい

ます。電子の営業手当(二〇三〇〇円)とは大きな違いですが、エンジは営業手当にみなし残業手当が含まれている。電子の募集は営業でも別途時間外手当支給となつています。

もともと営業や事業部でも電子・オプト・システムでは残業手当がつかまずの、もし残業時間の申請を忘れていた方は総務にタイムカード閲覧の申請をして

過去二年分の残業手当を申請することが出来ます。直属の上司が「認めない」と言えば犯罪です。ホワイト企業の竹中で摘発されるべき存在です。総務は請求があれば支払うとしています。夜7時以降は残業食事代三百円も出ます。後はあなた次第です。